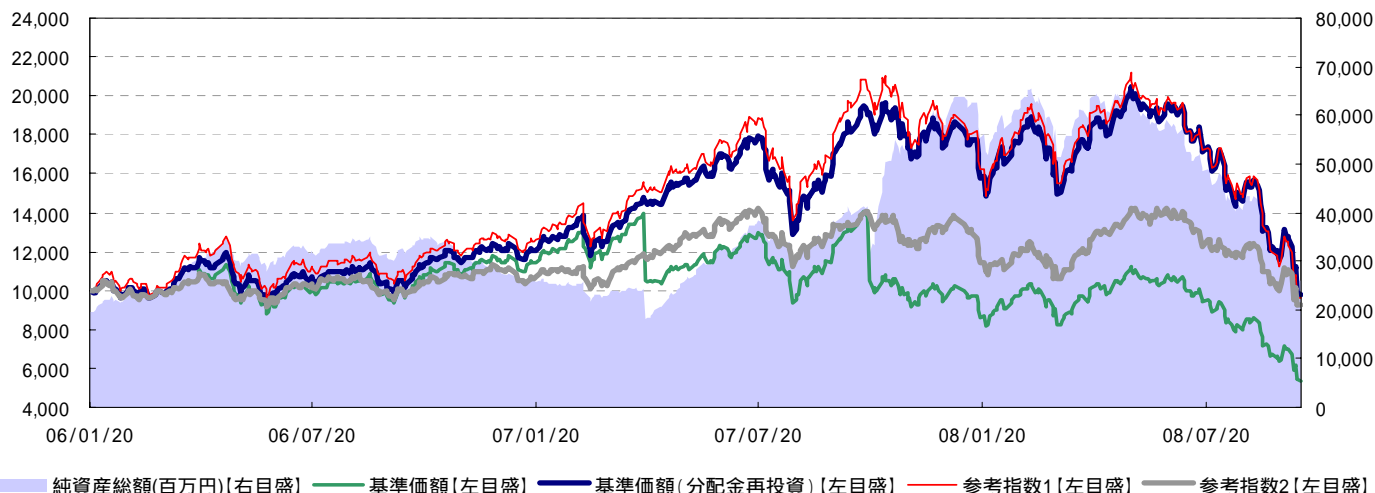


## 世界資源株ファンド 7月以降の基準価額の下落について

追加型株式投資信託/国際株式型(一般型)

### 運用状況等

#### 基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)、参考指数は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.974%(税抜1.88%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

参考指数1はHSBCグローバル・マイニング・インデックス(円換算ベース)です。  
 参考指数2はMSCIワールドエナジーインデックス(円換算ベース)です。  
 HSBCグローバル・マイニング・インデックス(円換算ベース)は、総合金融グループであるHSBCが算出・公表している世界の鉱山関連株式で構成される株価指数であるHSBCグローバル・マイニング・インデックスをもとに、委託会社が計算したものです。HSBCグローバル・マイニング・インデックスに関する著作権その他の知的財産権はHSBCに帰属しており、その許諾なしにこのインデックスの全部または一部を複製・配付・使用等することは禁じられています。  
 MSCIワールドエナジーインデックス(円換算ベース)は、MSCI Inc.が開発した石油・天然ガス等エネルギー関連株式で構成される株価指数であるMSCIワールドエナジーインデックスをもとに委託会社が計算したものです。MSCIワールドエナジーインデックスに関する著作権その他の知的財産権はMSCI Inc.に帰属しており、その許諾なしにこのインデックスの全部または一部を複製・配付・使用等することは禁じられています。

#### ファンドの現況および騰落率

	2008/10/06	2008/09/30	2008/06/30	騰落率(9/30比)	騰落率(6/30比)
<b>基準価額</b>	5,368円	5,868円	10,566円	-8.52%	-49.20%
<b>純資産総額(百万円)</b>	25,887	28,381	56,792	-	-

・ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。  
 基準価額および分配金は1万口当たりです。  
 債券評価額には、経過利子を含めて(利含み)あります。

3ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

世界資源株ファンド

ファンドマネージャーコメント

「世界資源株ファンド」の7月以降の下落について

世界資源株ファンドの10月6日の基準価額(5,368円)は6月30日(10,566円)と比較して49.2%の下落となっております。

資源関連株式については、新興国を中心とした鉱物資源需要の拡大といった中長期的な好環境を背景に、本年前半までは比較的堅調に推移してきましたが、7月以降は世界的な景気低迷が需要減につながるとの懸念が強まったことや商品市況全般の下落の影響などを受け、原油関連銘柄や貴金属・鉱物資源関連銘柄などが全般に下落しました。

また為替についても、投資家のリスク許容度低下から低金利の円を借りて株式や商品などに投資されていた資金の逆流の動きが強まったことにより、円高の動きを後押ししたと考えています。

組み入れ比率上位の銘柄について

世界最大の鉄鉱石鉱山会社である「CIA VALE DO RIO DOCE-SP ADR」については、景気失速の影響が新興国にもおよび、鉄鋼需要の鈍化が懸念され始めたことなどが嫌気され株価は大きく下落しております。また、鉄鉱石需要が引き続き拡大基調にあることや、鉄鉱石鉱山の寡占化による価格支配力の強さ、および収益力の高さなどといった同社の好材料には投資家の注目が集まらない状況になっています。

「RIO TINTO PLC」、「BHP BILLITON PLC」については2008年1-6月(上期)決算で過去最高益を更新するなど業績的には好調ですが、将来の資源市況の下落に対する懸念に加え、世界的な信用不安・景気悪化懸念の台頭から事業拡大策・企業買収に向けた新株発行計画といった、これまでであれば株式市場で評価されてきた収益拡大策などがマイナス材料と判断されるようになり株価は大幅に下落しました。

今後の資源株市況の見通し・運用方針

世界全体に景気減速懸念が根強く、株式市況では値動きの荒い不安定な展開が続いていることや、足下の商品市況に調整色が強まっていることなどから、引き続き資源株市況も不安定な展開が続くものと予想されます。

しかしながら、中国・インドを中心とする新興国の経済成長は続いており、強い資源需要は長期的に損なわれることはないと考えております。また大手鉱山会社は足下の業績が好調な上、株価バリュエーションは予想PERベースで5倍前後の水準にまで低下するなど、中長期的には投資妙味があると考えます。

当ファンドではこうした環境を踏まえ、短期的には慎重な投資スタンスを維持し、経営の質が高く、産出量が拡大傾向にありコスト管理能力を有する多角経営企業を中心に投資を行っていく方針です。また、資源市況の変動リスクを緩和するために、特定の鉱物資源への配分が高まらないよう、貴金属を含めた幅広い資源関連株に投資してまいります。

コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。  
 将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。なお、市場の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。  
 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

3ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

## 世界資源株ファンド



### 追加型株式投資信託/国際株式型(一般型)

#### ファンドの特色

- ・主として、世界各国(除く日本)の資源関連の株式等へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。
- ・当ファンドの運用は「ファミリーファンド方式」により行い、「世界資源株マザーファンド受益証券」への投資を通じて、世界各国(除く日本)の資源関連の株式等への実質的な投資を行います。このほか、当ファンドで直接投資を行う場合があります。
- ・組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ・マザーファンドの運用にあたっては、世界資源関連株式運用に実績のある、コロニアル・ファーストステート・アセットマネジメント(オーストラリア)リミテッドが担当します。

#### 商品概要

信託期間 : 2006年1月20日から2015年10月19日まで  
 決算日 : 原則として、毎年4・10月の19日(休業日の場合は翌営業日)  
 参考指数1 : H S B Cグローバル・マイニング・インデックス(円換算ベース)  
 参考指数2 : MSCIワールドエナジーインデックス(円換算ベース)  
 お買付け申込み・中途換金 : いつでもお買付申込み、換金のお申込みができます。ただし、シドニーの銀行の休業日に該当する日については、お買付・中途換金のお申込みができません。  
 申込価額 : 申込受付日の翌営業日の基準価額

**【お客様には以下の費用をご負担いただきます。】**

申込時に直接ご負担いただく費用  
 申込手数料 : 申込価額×3.15%(税抜3%)を上限として販売会社が定める手数料率  
 換金時に直接ご負担いただく費用  
 信託財産留保額 : 換金申込日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じた額  
 保有期間中に間接的にご負担いただく費用  
 信託報酬 : 純資産総額に対して、年率1.974%(税抜1.88%)  
 その他費用(\*) : 売買委託手数料、監査報酬、組入資産の保管等に要する諸費用、先物取引・オプション取引等に要する費用等  
 (\*)「その他費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。  
 なお、お客様にご負担いただく費用等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
 (課税関係)原則として、分配時の普通分配金ならびに換金(解約)時および償還時の個別元本超過額に対して課税されます。  
 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【お申込不可日について】2008年の該当日は1月28日、3月21日、3月24日、4月25日、6月9日、8月4日、10月6日、12月25日、12月26日です。なお、休業日および取引停止日は変更される場合があります。

#### 当資料のご利用にあたっての注意事項等

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式等の有価証券市場の相場変動、組入有価証券の発行者の信用状況の変化等により、当ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、実質的に外貨建資産に投資しますので、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、投資家のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。当ファンドの主な投資リスクとして、組入有価証券の価格変動リスクや為替変動リスク等があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「基本情報 リスク」をご覧ください。

投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。/ 金融商品取引業者以外の金融機関は、投資者保護基金に加入していません。/ 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。/ 投資信託の取得のお申込みを行う場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。/ 投資信託は、書面による契約の解除(クーリング・オフ)の適用はありません。/ 運用により信託財産に生じた損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。

当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。/ 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。/ 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。/ 当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

#### (お申込みの際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

設定・運用 ...三菱UFJ投信株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
 加入協会 (社)投資信託協会/(社)日本証券投資顧問業協会  
 <お客様専用フリーダイヤル> 0120-151034(毎営業日の9:00~17:00)  
 <オフィシャルサイト> <http://www.am.mufg.jp/>  
 基準価額・分配金をメール配信 <http://k.m-muam.jp/a/1/3>  
 (\*メール配信対象外ファンドもあります。)

**当ファンドにかかるリスクについて**

当ファンドへの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴います。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重に投資のご判断を行っていただく必要があります。

<b>市場リスク</b>	<p>(価格変動リスク)          当ファンドは、株式を実質的な主要投資対象とし、株式の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、当ファンドはその影響を受け株式の価格が下落した場合には基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p> <p>(為替変動リスク)          実質的な主要投資対象である海外の株式は外貨建資産ですので、為替変動の影響を受けます。そのため、為替相場が円高方向に進んだ場合には、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p>
<b>信用リスク</b>	<p>信用リスクとは、有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となること等をいいます。当ファンドは、信用リスクを伴い、その影響を受けますので、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p>
<b>流動性リスク</b>	<p>有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている株式の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p>
<b>カントリーリスク</b>	<p>新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込む可能性が高まることがあります。</p>
<b>留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当ファンドは、一定の運用成果を保証するものではありません。</li> <li>・当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、当ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、当ファンドの基準価額に影響する場合があります。</li> </ul>

表紙の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

